

特別企画

左官の可能性を拡げる 注目の材料・工法

現在、左官のみならず建設業界全体で人手不足が大きな課題となっている。その一方で、施主のニーズの多様化と差別化など、新たな表現も求められており、材料や工法の新しい技術革新によって左官仕上げの幅は拡がりつつある。

今月号では、珪藻土を混ぜることで漆喰の機能性を高める材料研究をおこなった職業能力総合大学の山崎尚志准教授に話を伺うほか、新たな表現や誰でも簡単に施工を可能にした製品に注目し、左官仕上げの可能性に迫る。 (編集部)

インタビュー

素材を研究し、材料を発展させ、
機能性や施工性をより良いものに……………12

職業能力開発総合大学校 山崎 尚志 准教授に聞く

製品レポート

デニム端材をアップサイクルした内装左官材……………15

日本エムテクス株式会社 代表取締役 三浦 征也

高反応消石灰により機能性を向上させた漆喰塗料……………18

THINK 株式会社 マネージャー 伊澤 直人

微細なクラックに浸透し、抜群の強度を発揮する
簡単施工のひび割れ補修材……………22

株式会社ツネミ 代表取締役 廣石 武彦